

「空の移動革命に向けた非公式協議会」概要

- 目的：官民協議会で議論しきれない内容を民間主導で議論し、ロードマップ作成に寄与する
- アジェンダ
 - 第1回：利用ユース、ロードマップイメージ擦り合わせ
 - 第2回：各社の将来ビジョン共有、ロードマップ案作成
 - 第3回：ロードマップ案作成
- 参加者：主に官民協議会構成員の方々
 - 慶応義塾大学大学院、法政大学、宇宙航空研究開発機構、Uber Japan
AirX、エアバス・ジャパン、ANAホールディングス、川崎重工業
SUBARU、テトラ・アビエーション、Temma、Drone Fund、日本航空
日本電気、プロドローン、ベルヘリコプター、ヤマトホールディングス
CARTIVATOR、SkyDrive (敬称略)
 - ※傍聴：国土交通省、経済産業省
- アウトプット：ロードマップ素案(次頁)

■ ロードマップ案(非公式協議会 議論まとめ)

| | | 2010年代 2019 | 2020年代 2021 | 2023 | 2027 | 2030年代 2030 |
|-------|---------------------|--|--|-------------------|-------------------------------------|----------------------|
| | | 実証実験 安全性を高めていく | 実用化(事業化) 社会受容性を高めていく | | | 本格化(規模化) 社会課題を解決していく |
| 利活用 | サービス | ●Uber ●AirX 等 | <ul style="list-style-type: none"> ・偵察・捜索用など ・災害用の平時への活用法 ・当時の反省を1-ケースに反映 ●Airbus(ヘリを用いたサービスとして) <ul style="list-style-type: none"> ●Prodrone(2023:UTMに合わせて) | | | 場所(ユース/代替) |
| | インフラ・周辺 | ●NEC 等 ●実証都市 | ●SkyDrive(2023海上:移動) | | | 人口密集地上での活用(空飛ぶタクシー) |
| | メーカー | ●Airbus ●CARTIVATOR ●Prodrone ●Bell ●川崎重工 ●teTra ●Temma 等 | ●Airbus ●tetra(2023海上:緊急娯楽) | | | 災害時の活用(防災ヘリ,空飛ぶ救急車) |
| | | 実証実験の環境整備を。 | | 物流・移動(有人)に用いる許可を。 | | 市場を活性化するための法整備を。 |
| 官への要望 | 国交省 | 『場所』についての整備 | ●限定飛行認可 | ●耐空証明 | ●型式証明 | |
| | | 試験飛行の許可 | 航空法の整備・チューニング | 海外認定機関との連携 | 人口の少ない地域(過疎・海上)上空・非常時の例外的な飛行と着陸の許可等 | 人口の多い地域上空での飛行の許可等 |
| | | 飛行試験特区・離発着場所許可・特区化 | 運行事業者認定 | | | 操縦者なし飛行の許可 |
| | 経産省 | 官民協議会での議論深化→国プロ化 | 電池・消音など産業創造のために必要な技術を持っている事業会社への働きかけ | 製造事業者法の修正 | 機体の輸出入・海外事業者の誘致 | |
| 総務省 | 既存インフラ(ヘリ・高速など)活用検討 | 電波帯・空域整備と許可 | | | | |
| 参考 | 海外 | ●Kittyhawk事業化(娯楽: ULP: 2018米) | ●Volocopterテスト(都市部: シンガポール) | ●Uber事業化(都市部: 米) | | |